



マルマス循環式精米機

マスペット 22FA型 (ファン付)

マスペット 2KA型 (ファンなし)

(高級ステンレストンク標準装備)



## 取扱説明書

この度は、マルマス循環式精米機  
“マスペット22FA型、2KA型”  
をお買い上げ頂き  
厚くお礼申し上げます。

ご使用前には取扱説明書を熟読され  
末長くご愛用下さい。

尚、不明瞭な点がありましたら  
販売店もしくは当社にお問合せ下さい。



◎この取扱説明書を熟読され十分に理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。

◎この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。

製造元: マルマス機械株式会社

## 重要なお知らせ



この製品の操作，および保守，点検，を行うときは，必ずこの取扱説明書に従ってください。

この取扱説明書に従わなかったために，あるいは誤用や無断改造がなされたために，けがを負ったり損害が発生したとしても，マルマス機械株式会社およびその販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) 近年，農業機械は，高度化，複雑化に伴ないさまざまな危険が潜在する傾向にあります。この機械の取扱上の危険についても，すべての状況を予測することはできません。そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項はすべての危険を想定しているわけではありません。  
従って，機械の操作，または日常の点検を行う場合は，この取扱説明書の記載及び機体本体に表示されている事項に限らず，安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について，質問やより詳しい情報が必要な場合は当社又は購入店へお問い合わせ下さい。
- 3) この取扱説明書において，万一，へ°ーシ°の<乱丁>や<落丁>などが，あった場合はお取り替えいたしますので，お手数ですが当社又は購入店までご連絡下さい。



この取扱説明書には，22FA型（ファン付き）と2KA型（ファンなし）が併記してあります。

お客様の製品のタイプ°をご確認の上、取扱説明書をお読みください。

# 目 次

## 1. 危険防止のために

1-1	警告用語の種類と意味	1 頁
1-2	本機の使用にあたっての諸注意	2 頁
1-3	警告ラベル貼付位置 (1)	4 頁
1-4	警告ラベル貼付位置 (2)	5 頁

## 2. ご使用になるまえに

2-1	本機の構成名称	6 頁
2-2	精米装置の構成	7 頁
2-3	機台、キャスターと本機の取り付け方	8 頁
2-4	本機とモーターの取り付け方	9 頁
2-5	モーターとベルトカハの取り付け方	10 頁
2-6	機台パーツリスト	11 頁
2-7	精米機とモーター別のVベルトサイズ表	12 頁
2-8	機械的及び、電氣的仕様の確認	13 頁
2-9	電気工事に関する注意事項	14 頁
2-10	本機の据え付けについて	15 頁
2-11	回転方向の確認	15 頁

## 3. 精米のしかた

3-1	精米のしかた (1)	16 頁
3-2	精米のしかた (2)	17 頁

## 4. 運転後の取扱い

4-1	点検, 掃除 (1)	18 頁
4-2	点検, 掃除 (2)	19 頁

## 5. 不調な時の原因と対策

5-1	不調な時の原因と対策	20 頁
-----	------------	------

# 1. 危険防止のために

## 1-1. 警告用語の種類と意味

\*

- ◎ 危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。  
この警告ラベルでは、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従って下さい。

警告用語	意味
 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償です）



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから  
取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し  
本機の回りには決して過熱性の物・電気的な高容量物・コンプレッサー等の  
ノイズ発生物などの危険な物は置かないようにして下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと  
交換し同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。（有償とさせていただきます。）



警告： 当社に無断で本機を改造したり、取り付けられている物を取り外したり  
加工をほどこし本機と関係のない物を取り付けたりすることは絶対にしないで下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者又は電気工事資格店にて  
本機の手取説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。  
自分で勝手に工事はなさないで下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。  
又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合している事を確認後  
本機を使用して下さい。



警告： 使用頻度に合わせて本機の点検・掃除は必ず実施して下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。  
又、点検・掃除を行う場合は必ず電源プラグを抜いて作業して下さい。  
電源プラグの抜き差しにおいては必ずプラグ本体を手で持って行って下さい。  
ケーブル自身をひっぱらないで下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。

注意： 上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。  
よく熟読され、必ず厳守して下さい。



注意： 本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
感電・漏電・火災の原因となります。



注意： 水のかかる場所や火気の近くでは仕様しないで下さい。  
感電・漏電・火災の原因となります。



注意： 電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いて  
下さい。  
感電や発火する場合があります。



警告： 改造はしないで下さい。修理技術者以外の人は分解や修理をしないで下さい。  
火災・感電・ケガの原因となります。



警告： 本機を水につけたり、本機に水をかけたりしないで下さい。  
ショート・感電の恐れがあります。



警告： 電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、  
よく拭き、ほこりを取り除いて下さい。  
火災の原因となります。



警告： 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を  
使用しないで下さい。  
感電・ショート・発火の原因となります。



警告： 指定の電源以外では使用しないで下さい。  
火災・感電の原因となります。



警告： 電源コードを傷つけないで下さい。  
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、  
重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、  
火災・感電の原因となります。



警告： 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。  
感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

注意： 上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。  
よく熟読され、必ず厳守して下さい。



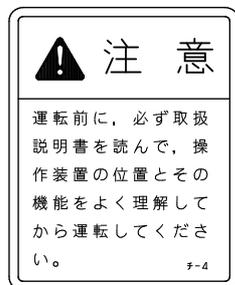
**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

タンク内の下部には、回転部があります。運転中にこれらに、手で直接接触するとケガをしますのでタンク内の掃除や、なんらかの理由で、手を入れる時は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

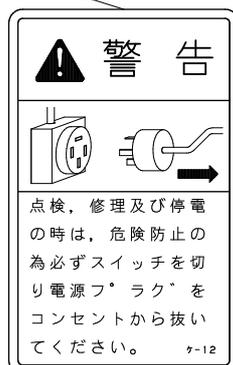
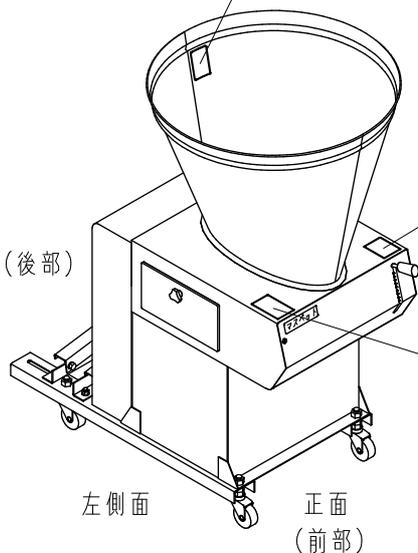
(注文コード 260-401-11)



ラベルの説明

運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能・機能を充分理解してから運転してください。本機の性能を充分発揮できず、安全上支障をきたすことがあります。

(注文コード 260-433-11)



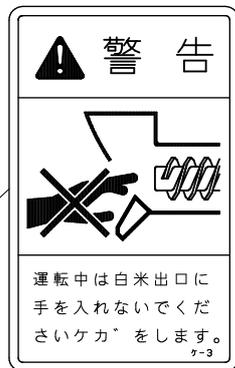
ラベルの説明

点検、修理の際、本機伝動部・作動部が作動しているとこれらに接触するとケガをします。又停電が復旧した場合に、本機が急に作動したりして、思わぬ事故を招くことがありますので、点検、修理、及び停電の時は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

(注文コード 260-411-11)



**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

運転中、回転しているロールにさわるとケガをしますので、運転中は白米出口に、絶対に手を入れないで下さい。

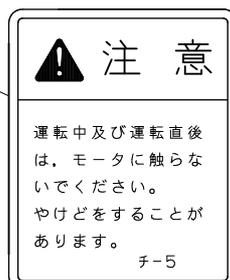
(注文コード 260-402-11)



ラベルの説明

後カバーを開けると、伝動部があります。運転中にこれらに手で直接接触すると、ケガをしますので後カバーを開ける時は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

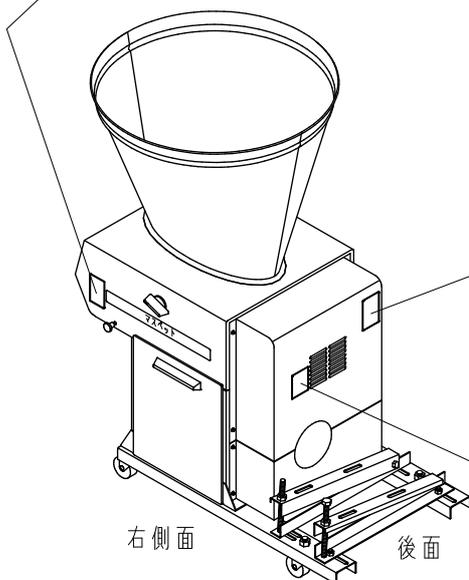
(注文コード 260-400-11)



ラベルの説明

運転中はモーターが高温になっていますので、運転中及び運転直後は、モーターに触らないでください。やけどをすることがありますので、注意して下さい。

(注文コード 260-434-11)



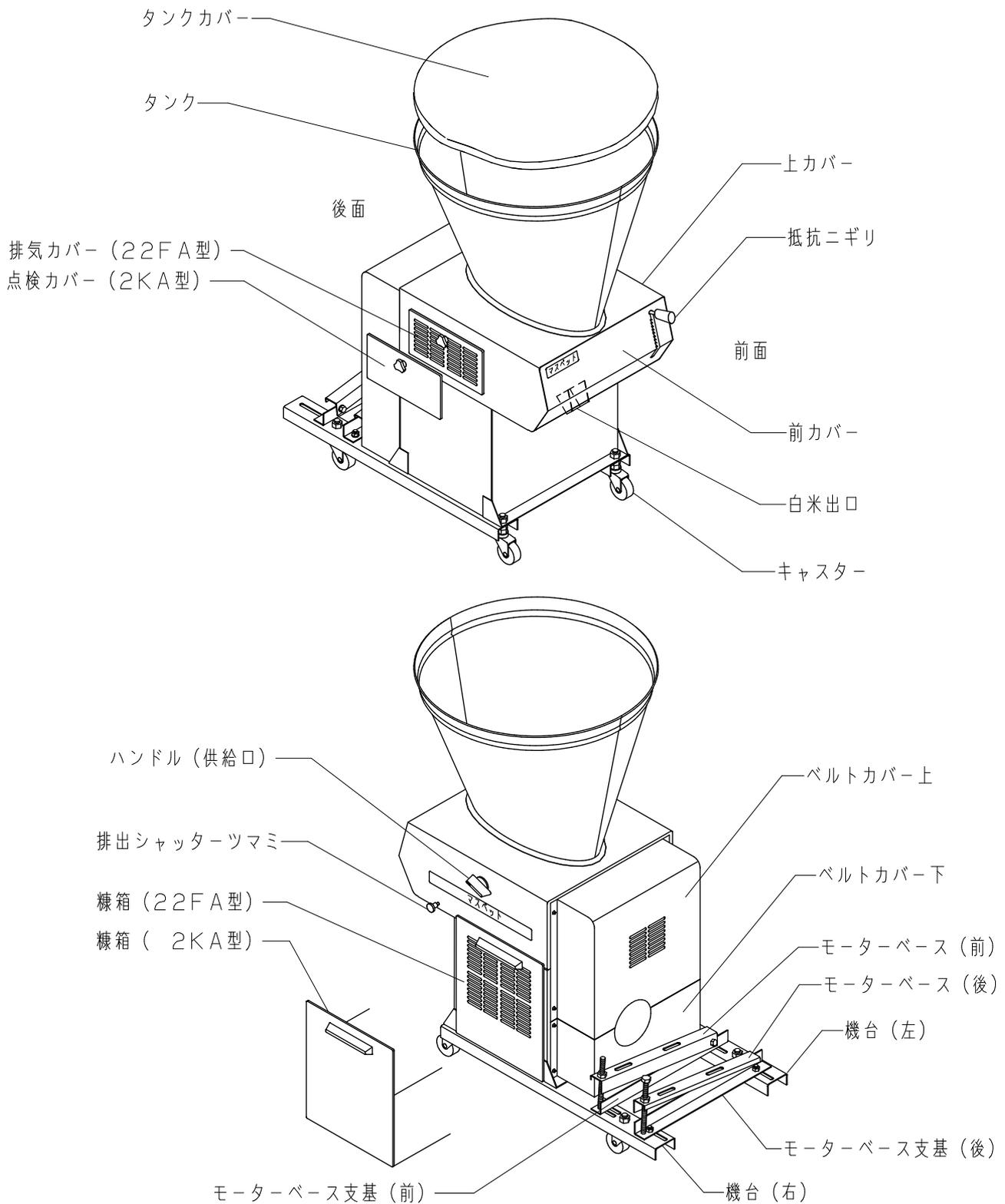
右側面

後面

## 2. ご使用になる前に

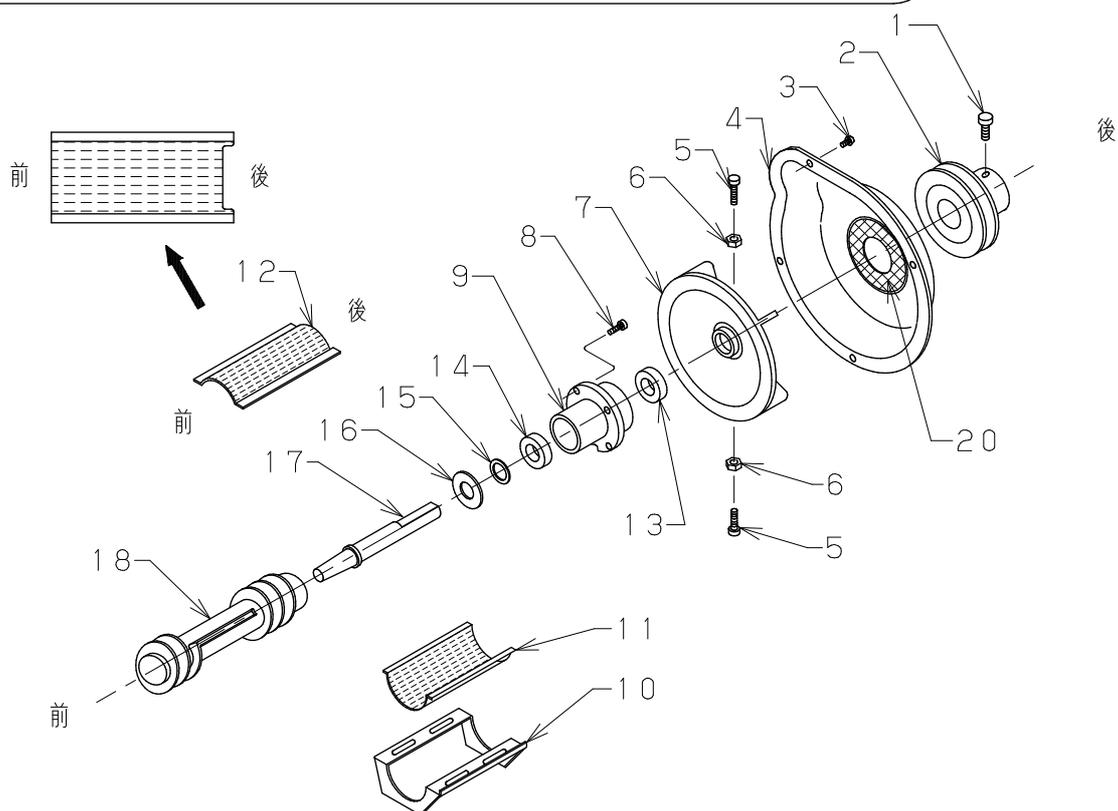
2-1, 本機の構成名称 \*

**!** 注意： ご使用の前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取り扱い下さい。





注意： ご使用前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取り扱い下さい。



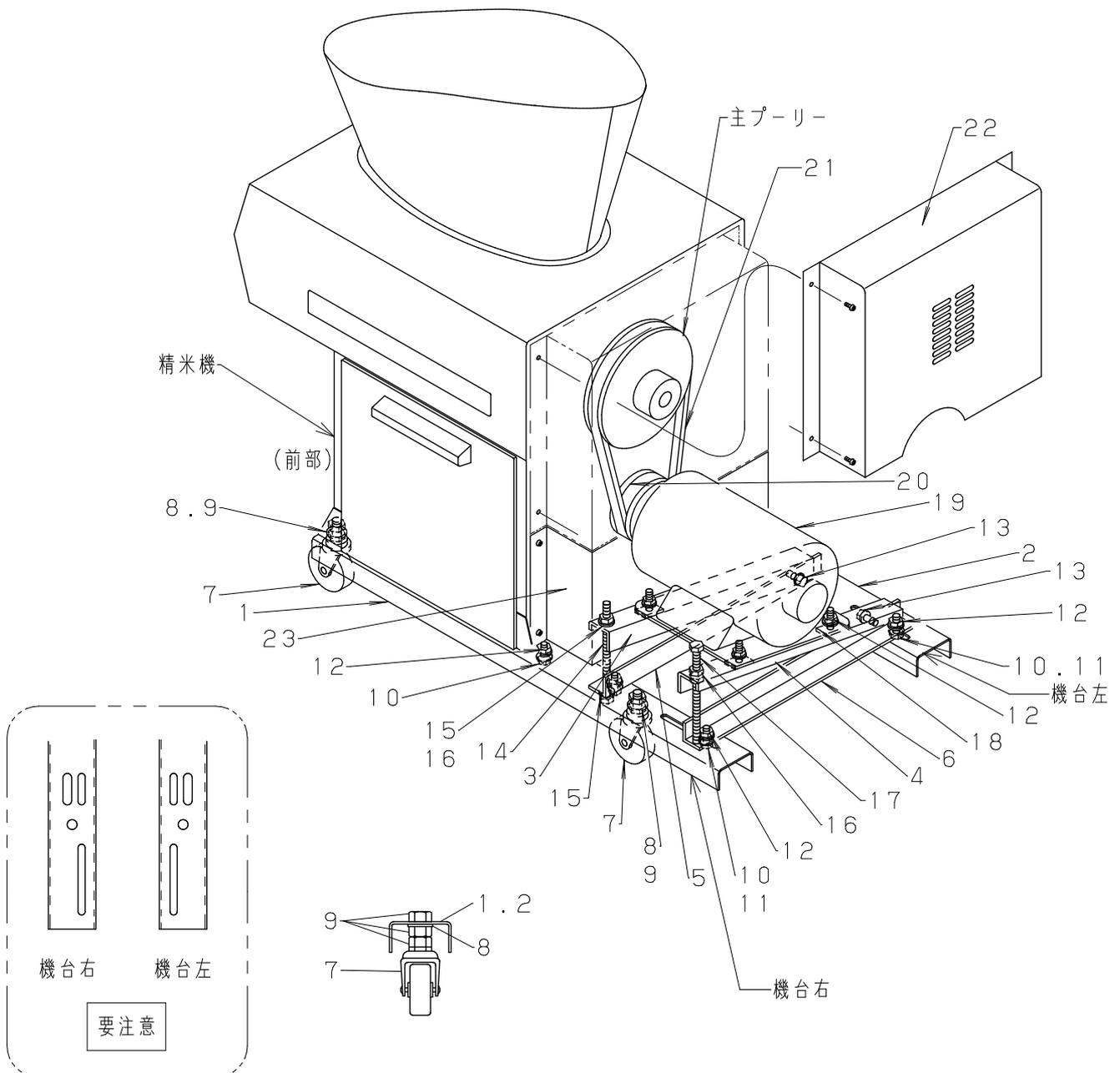
品番	名称	備考	品番	名称	備考
1	六角ボルト	M10×20	11	除糠アミ	
2	主プーリー		12	上アミ	
3	⊕ナベ小ネジ (SW付)	M6×10	13	ベアリング	22FA 6004ZZ 2KA 6203ZZ
4	ファンケース		14	ベアリング	22FA 60042NS 2KA 62032NS
5	六角ボルト	M8×30	15	主軸座金 (小)	
6	六角ナット	M8	16	主軸座金 (大)	
7	ファンランナ		17	主軸	22FA Ø20 L223 2KA Ø17 L191
8	六角ボルト (SW付)	M6×20	18	ロール	
9	主軸受ケース				
10	アミ枠		20	ファンケースアミ	

※マスペット2KA型には上記3, 4, 5, 6, 7, 12, 20番の部品は付属していません。

機台、キャスターと精米機の取り付け方

- 1) (1番) 機台右、(2番) 機台左の後部より2コめの長穴に、(5番) モーターベース支基(前)を取り付けて下さい。(仮止とします。)
- 2) 機台左右の後部の長穴に、(6番) モーターベース支基(後)を取り付けて下さい。(仮止とします)
- 3) 機台左右の上に精米機を乗せ、精米機後部を(10番) ホールト(12番) ナットにてセットして下さい。
- 4) (7番) キャスターを、機台左右の $\phi 13$ 穴に(8番) 座金、(9番) ナットにて図のように、取り付けして下さい。  
尚、精米機前部のキャスター(2コ)は機台と精米機下部の穴を合わせて取り付けして下さい。
- 5) (3、4番) モーターベース前、後をそれぞれの(5、6番) 支基に、モーターベースの内側を支基にかぶせる様にして、ベース側面の穴に(13番) ボルトを通してセットして下さい。

注意) それぞれの部品が移動したり、動く様にボルトは仮止としておきます。



モーターの取り付け方

- 1) モーターをモーターベース前後に取り付、モータープーリーをセットして下さい。下図の取り付け寸法を参照して下さい。(重要)
- 2) モーターとモーターベースとモーターベース支基前後をセットして、機台の上を前後にスライドさせてベルトカバー(下)(23番)にモーターのプーリー側の側面が接近する様に(隙間5ミリ程)セットして下さい。詳しくは、10頁を参照して下さい。
- 3) モーターベース締め付け用の(14番)ジャッキボルト(A)を機台右の下から通してモーターベース前の先端の穴に通します。機台の下及びモーターベースの上にそれぞれ(15番)座金を入れ上部に(16番)ナットを取り付けします。
- 4) モーターベース後の先端に調節用の(17番)ジャッキボルト(B)に(16番)ナットをはめ上からねじ込んで下さい。
- 5) Vベルトを主プーリーとモータープーリーにかけて下さい。Vベルト寸法は10頁のVベルトサイズ表を参照して下さい。  
注意) 取り付けの初めには、モーターベース前後共、略水平の状態のときにVプーリー上下の中心を合わせて下さい。
- 6) モーターベース締め付け用ジャッキボルト(A)を軽く締めて下さい。
- 7) 続いてモーターベース後の調節用ジャッキボルト(B)を締めて、モーターベース前後が同じ高さになるように、A又はBのジャッキボルトにて調節して下さい。  
注意) モーターベース前後の高さが、機台右の水平線と平行になる様にして下さい。  
ジャッキボルト(B)は調節完了後モーターベース上面にてM10ナットで固定して下さい。
- 8) 6)項及び7)項の様にして調節しVベルトを十分に張る様にして下さい。
- 9) 仮止してあるボルト類を確実に締め付けて下さい。
- 10) ベルトカバー(上)を取り付けます。ベルトカバー(下)と若干の隙間(1ミリ程度)をとる様にして下さい。詳しくは10頁を参照して下さい。

◎機台組付説明図

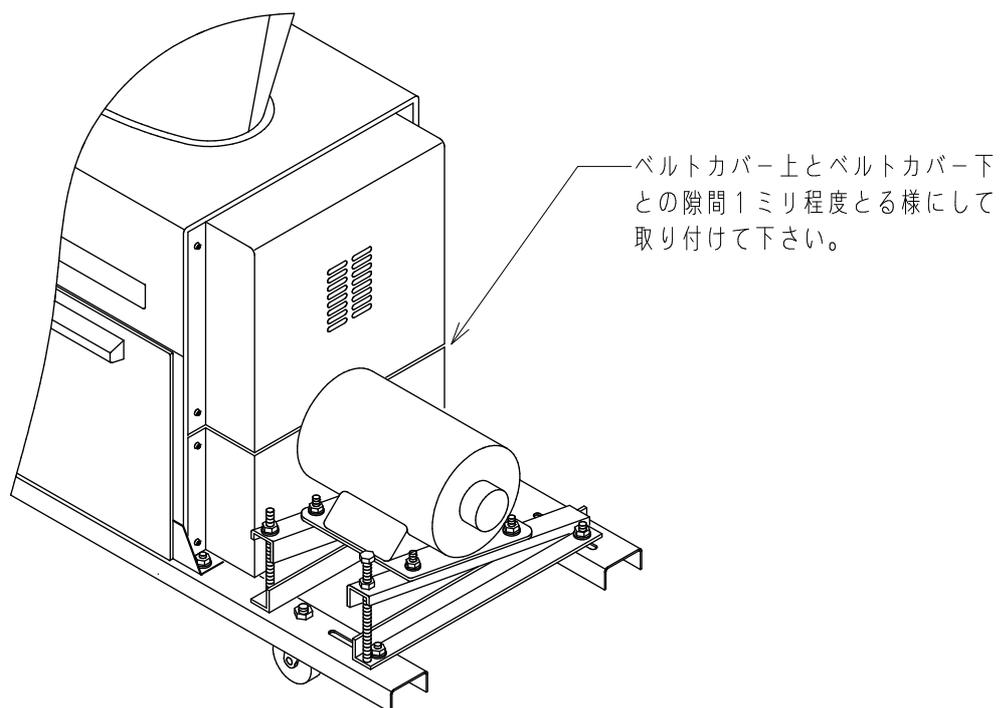
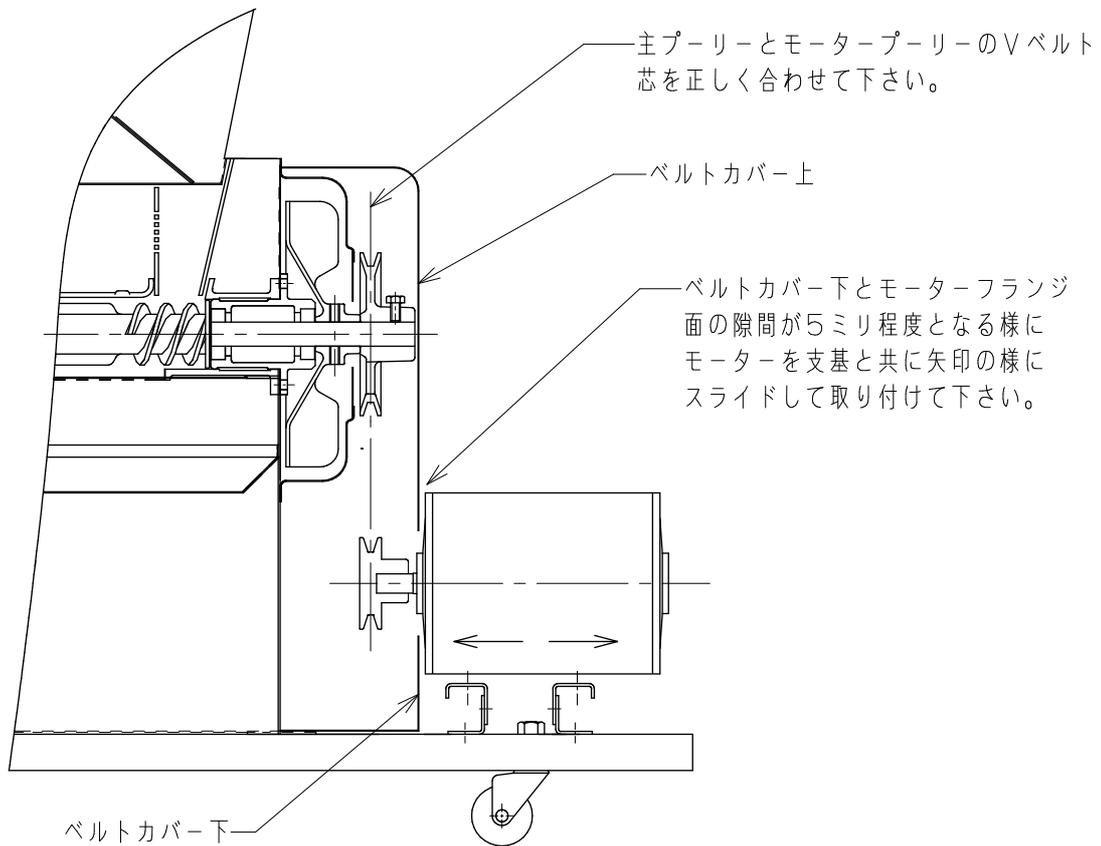
・モーターとモーターベースの組付寸法  
(後部より見た図)

モーターの種類 (馬力: Kw)	モーターセット寸法 (単位: mm)
0.4~1.5Kw	200mm
1.9~2.2kW	195mm

・モータープーリーセット寸法  
(横から見た図)

モーターの種類 (馬力: Kw)	モータープーリーセット寸法 (単位: mm)
单相 0.4Kw	85mm
三相 0.4Kw	80mm
0.75Kw	85mm
1.0~1.5KW	90mm
1.9~2.2KW	96mm

- モーターとベルトカバーの取り付け調整の仕方



## 機台ハ° ツリスト

No	名称	個数	寸法	備考
1	機 台 右	1		
2	機 台 左	1		
3	モーターへ° ス前	1		
4	モーターへ° ス後	1		
5	モーターへ° ス支基前	1		
6	モーターへ° ス支基後	1		
7	キャスター	4	Ø50	
8	平座金	4	M12	キャスター取付け(4)
9	六角ナット	12	M12	キャスター取付け(8)
10	六角ボ° ルト	6	M8 × 20	本機取付(2)へ° ス支基(4)
11	平座金	4	M8	モーターへ° ス支基組付(4)
12	六角ナット(皿ハ° ネ付)	10	M8	モーター(4)組付用(6)
13	六角ボ° ルト(SW付)	2	M8 × 16	モーターへ° ス(2)
14	M10シ° ャッキボ° ルト(A)	1	M10 × 120	モーターへ° ス前(1)
15	平座金	2	M10	シ° ャッキ用(2)
16	六角ナット	2	M10	シ° ャッキ用(2)
17	M10シ° ャッキボ° ルト(B)	1	M10 × 120	モーターへ° ス後(1)
18	モーター取付けボ° ルト	4	M8×30(平板付)	モーター組付用(4)
(19)	モーター お手持品標準型(E種)	(1)		0.4KW ~ 2.2KW
(20)	モータープーリー お手持品	(1)		
(21)	Vベルト お手持品	(1)	VA	
22	ベルトカバー(上)	1		
23	ベルトカバー(下)	1		

## 使用モーターとVベルト明細

型式	サイクル (HZ)	使用 モーター KW	モーター フーリー ミリ (インチ)	主軸 フーリー ミリ (インチ)	回転数 (毎分)	Vベルト
22FA型 2KA型	50HZ	単相 0.4KW	Ø89 (3.5")	Ø135	920	A29" × 1
		三相 0.4KW	Ø89 (3.5")	Ø135	920	A28" × 1
		0.75KW	Ø114 (4.5")	Ø135	1200	A29" × 1
		1.0KW	Ø114 (4.5")	Ø135	1200	A29" × 1
		1.5KW	Ø114 (4.5")	Ø135	1200	A29" × 1
		1.9KW	Ø114 (4.5")	Ø135	1200	A29" × 1
		2.2KW	Ø114 (4.5")	Ø135	1200	A29" × 1
	60HZ	単相 0.4KW	Ø76 (3")	Ø135	920	A29" × 1
		三相 0.4KW	Ø76 (3")	Ø135	920	A28" × 1
		0.75KW	Ø102 (4")	Ø135	1270	A29" × 1
		1.0KW	Ø102 (4")	Ø135	1270	A29" × 1
		1.5KW	Ø102 (4")	Ø135	1270	A28" × 1
		1.9KW	Ø102 (4")	Ø135	1270	A28" × 1
		2.2KW	Ø102 (4")	Ø135	1270	A28" × 1

- 1) 使用モーターはお手持ち品又はオフショーンとします
- 2) モーターフーリーはお手持ち品又はオフショーンとします
- 3) Vベルトは注文品 (オフショーン) とします



**警告：** 本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者又は電気工事資格店にて配線は電気設備技術基準、内線規定及び電力会社の規定に従って下さい。  
又本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施して下さい。  
自分で勝手に工事はなさないで下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。  
又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合している事を確認後本機を使用して下さい。

## ◎仕様

項目 機種	使用 モーター KW	毎分 回転数 (rpm)	毎時能力 玄米 (Kg)	タンク 容量 (Kg)	重量 (Kg)	外形寸法 巾×長さ×高さ (cm)
22FA型 (ファン付)	0.4KW	920	35 ~ 45	30Kg	33.5	54×79×99
	0.75KW以上	1270	60 ~ 70			
2KA型 (ファンなし)	0.4KW	920	35 ~ 45	30Kg	31.5	54×79×99
	0.75KW以上	1270	60 ~ 70			

(注) 1) 毎時能力は玄米の乾燥度合い、品種、米質、搗精時期などの諸要因により多少の変化があります。  
2) なお仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

モーターの出力と各設備の容量 (参考)									
モーター		電圧	開閉器	超過目盛	配線最小太さ		3線最大長さ	アース線最小径	
(KW)		(V)	(A)	電流計 (A)	直径 mm	(mm <sup>2</sup> )	(m)	直径 mm	(mm <sup>2</sup> )
単相	0.4	100	15以上	10	1.6	(2.0)	11	1.6	(2.0)
三相	0.4	200	15以上	5	1.6	(2.0)	54	1.6	(2.0)
	0.75	200	15以上	5	1.6	(2.0)	54	1.6	(2.0)
	1.0	200	15以上	5	1.6	(2.0)	32	1.6	(2.0)
	1.5	200	15以上	10	1.6	(2.0)	32	1.6	(2.0)
	1.9	200	30以上	10	1.6	(2.0)	23	1.6	(2.0)
	2.2	200	30以上	10	1.6	(2.0)	23	1.6	(2.0)

注意 1) 使用電源が、上記に示す電氣的な仕様を十分満足しているか確認して下さい。  
2) 安全のために必ずアース (接地工事をして) をとってください。



警告： 修理及び点検作業を行う場合は必ず元電源を切ってから実施して下さい。  
感電等安全上支障をきたすことがあります。

- ◎ 22FA型2KA型に関する電源仕様及び電源に関する注意事項を下記に示します。

電 源	モーター容量	ブレーカー容量	ヒューズ容量	
単相100V	0.4KW SKD	10A	15A以上	1コンテナ型
単相100V	0.4KW SIKD	7.5A	15A以上	2コンテナ型
三相200V	0.4KW	2.5A	5A以上	
	0.75KW	4.2A	10A以上	
	1.0KW	5A	15A以上	
	1.5KW	7.3A	15A以上	
	1.9KW	9A	20A以上	
	2.2KW	10A	20A以上	

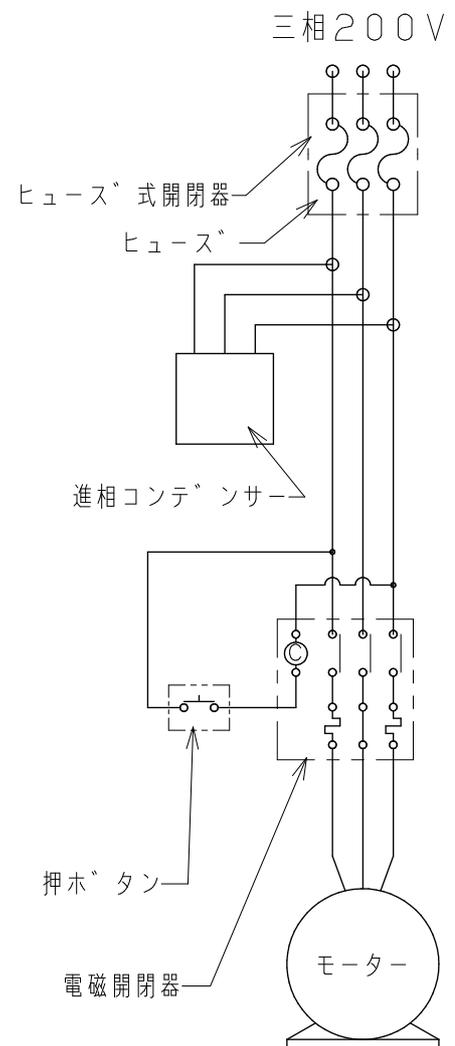
お客様での三相200V電源には右配線図に示すような進相コンデンサーが取り付けられていることがあります。これは、電気料金の低減が目的であります。お客様でヒューズ式開閉器をご使用になっていて、何らかの原因でヒューズが切れた場合、切れた線上には進相コンデンサーの影響により100Vが供給されてしまいます。

この100Vにより精米機に設置した電磁開閉器がチャタリング現象を起こし損傷する恐れがあります。

安全のためにヒューズ式開閉器はご使用にならず、ノーヒューズブレーカーをご使用下さい。

◎ 単相100V 400Wモーターを使用される場合

- 本機の電源プラグを100V動力配線の電源コンセントに接続して下さい。  
電燈線から取ったりタコ足配線したりコードリール等の長い線（細い線）を使用しないで下さい。
- 電源ブレーカーは10A以上を御使用下さい。
- 安全のため必ずアースをとって下さい。

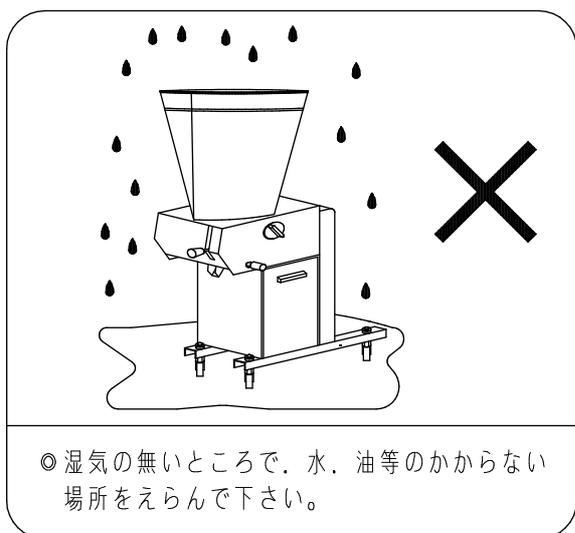




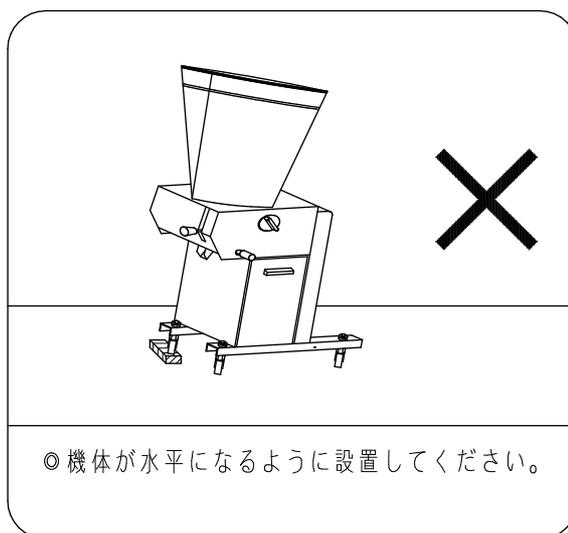
注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。

作業するには身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

### 精米機の据え付けについて



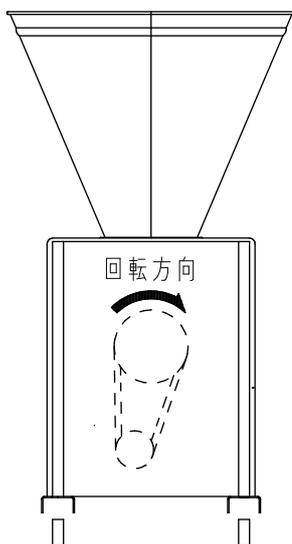
◎ 湿気の無いところで、水、油等のかからない場所をえらんで下さい。



◎ 機体が水平になるように設置して下さい。



注意： 回転方向の確認をする際は、必ずベルトカバーを取り付けた状態で行って下さい。



- ◎ 精米機の回転方向は、機体後面部より見て時計方向（右回り）です。必ず矢印の方向に回転していることを確認して下さい。回転方向が違う場合は、配線を直して下さい。

# 3. 精米のしかた

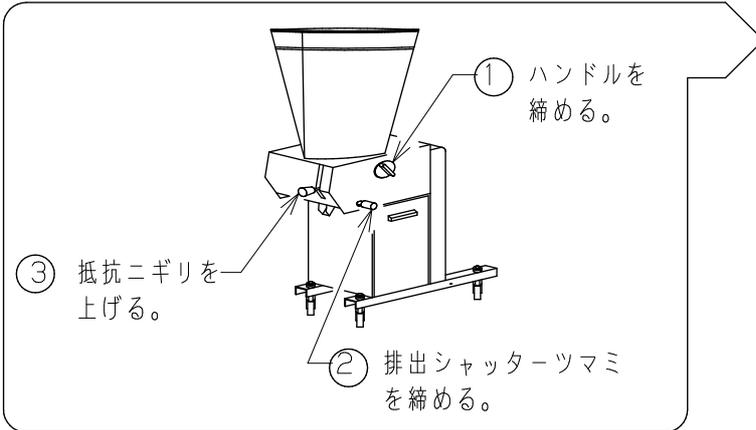
## 3-1, 精米のしかた(1)

※



警告： 作業を行う場合、身の回りには充分気を配り、可動部には絶対に接触しないようにして下さい。安全上支障をきたす場合があります。

◎運転は下図の要領で行って下さい。



モーターの回転方向を確認

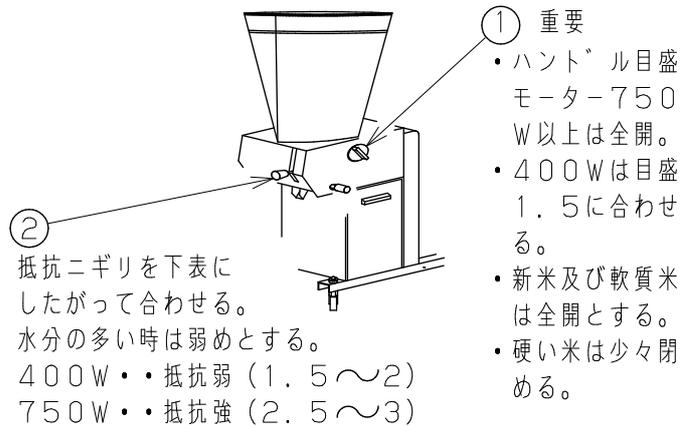
玄米を入れる。(30Kg)

モーターを運転する。

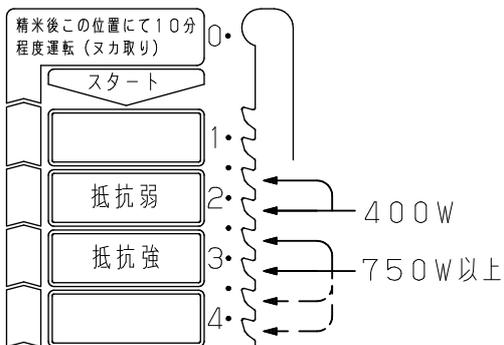
米粒が精米され白くなったら抵抗を上げて(目盛を0にして)10分程度糠取りして下さい。

白米排出

糠を出す。



### ◎抵抗目盛の表示の仕方



- 1) 精米はモーター馬力に応じた位置で操作して下さい。
- 2) 米質が軟らかい場合等では左図(実線)より0.5～1目盛弱くして使用下さい。
- 3) 夏期、新米時期は抵抗(実線)を0.5～1.5目盛弱くして下さい。
- 4) 750W以上で御使用の場合特に硬質米では抵抗目盛3～4にて御使用下さい。

### ◎参 考

普通、玄米水分が、15%前後のものを標準米、16%～17%のものを軟質米(高水分米)、13%以下のものを硬質米(過乾燥米)といわれております。また新米時は、収穫されてから、1ヶ月後位までの時期をさします。

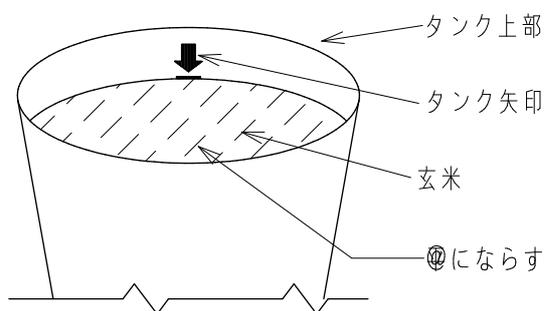
## モチ米精白のしかた

- モチ米の場合には、通常の玄米精白と同じ要領で、抵抗をかけて運転を行って下さい。  
ただし、モチ米精白の場合、通常の玄米精白に比べて、時間が長くなります。

## その他の注意事項

- ◎注意1 運転前はタンク内のスヘリ具合を確認して下さい。  
・タンク内を米糠等でふきとると米がすべりやすくなります。

- ◎注意2 タンク内の矢印まで玄米を張り込んでいただくと30Kg(2斗)まで張り込めます。  
30Kg以上張り込んだり米を平にならさなかったりするとむら搗や片流れの原因となります。  
最低20kgは張り込んでください。



- ◎注意3 新米時期や軟質米、モチ米などのご使用で、タンク内又は本機内で米づまり又はむらづきが発生することがあります、その場合は、下記のようにして下さい。

- (1) 抵抗を「0」にする。
- (2) ハンドル(供給口)を、全開にする。
- (3) 排出シャッターを開いて、硬着した米を一度取だしタンクに戻して下さい。
- (4) ツマリをほぐしてから精米を再開して下さい。

次に精米する場合は、次の手順でおこなって下さい。

- (1) ハンドル(供給口)を、全開にする。
- (2) 抵抗を「0」からスタートして徐々に、抵抗を加える。
- (3) 機械が新しい場合は、抵抗「0」～「1」であっても精米のできる場合もあります。

- ◎注意4 本機は、玄米専用ですので、それ意外のものでは使用しないで下さい。



## 注意

運転中停電した場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が復帰したときに、本機が知らぬ間に、作動したりして思わぬ事故を招くことがあります。

- また停電の際には、次のことをおこなって下さい。
  - (1) ハンドル(供給口)の位置を、閉にして下さい。
  - (2) 抵抗ニキリの位置を「0」に、戻して下さい。



## 注意

運転終了後は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

## 4. 運転後の取扱い

### 4-1, 点検, 掃除 (1)



警告：調節・点検・掃除作業及び糠箱の取り出し・糠の排出等・扉やカバーの開閉を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。安全上支障をきたす場合があります。

- ・糠箱にたまった糠は、精米するたびに排出してください。
- ・タンク内の糠は、乾いた布で拭いてください。
- ・除糠アミについた糠、小米は時々除去してください。
- ・使用後は、タンク内に異物が入らないように、タンクカバーを、本機にかぶせてください。

#### 金網のそうじのしかた

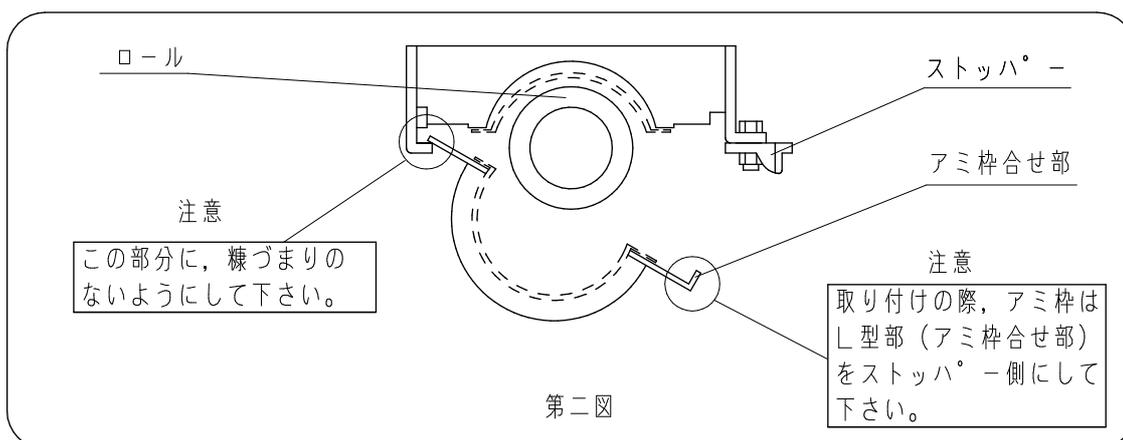
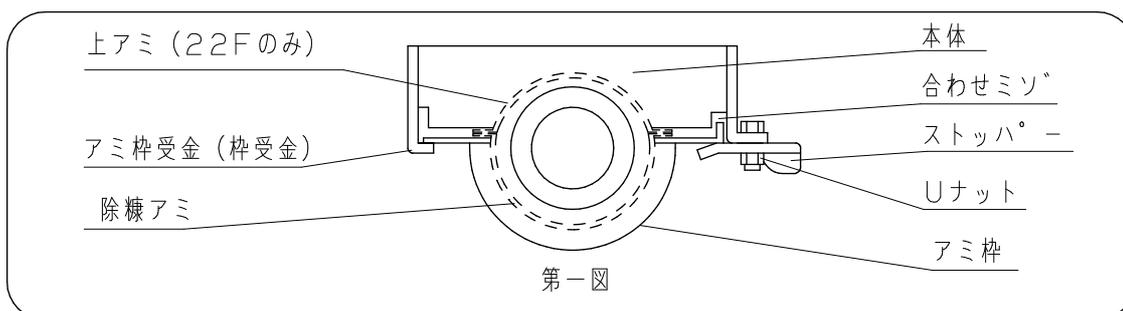
##### 1 除糠アミの取り外し方

- 1) 糠箱を外しますと本体下面に除糠アミが、アミ枠にて保持され、ストッパーにて固定されています。(第一図)
- 2) 次にアミ枠のストッパーを手前左方向に回して、アミ枠と平行にします。(第一図→第二図)
- 3) 次に第二図の様に、アミ枠を回転させて、アミ枠受金の契合部より、アミ枠と除糠アミを、同時にはずし、ブラシ等で除糠アミに付着した、小米、米糠を除去してください。

◎ 除糠アミの取り付け方は上記と逆の手順でおこなってください。アミ枠はストッパーで確実に固定して下さい。

注意 ストッパーのしまり具合を時々点検して下さい。ストッパーのしまりがゆるい場合はUナットをしめて下さい。

本体断面図 (第一図, 第二図共, 正面より見たもの)



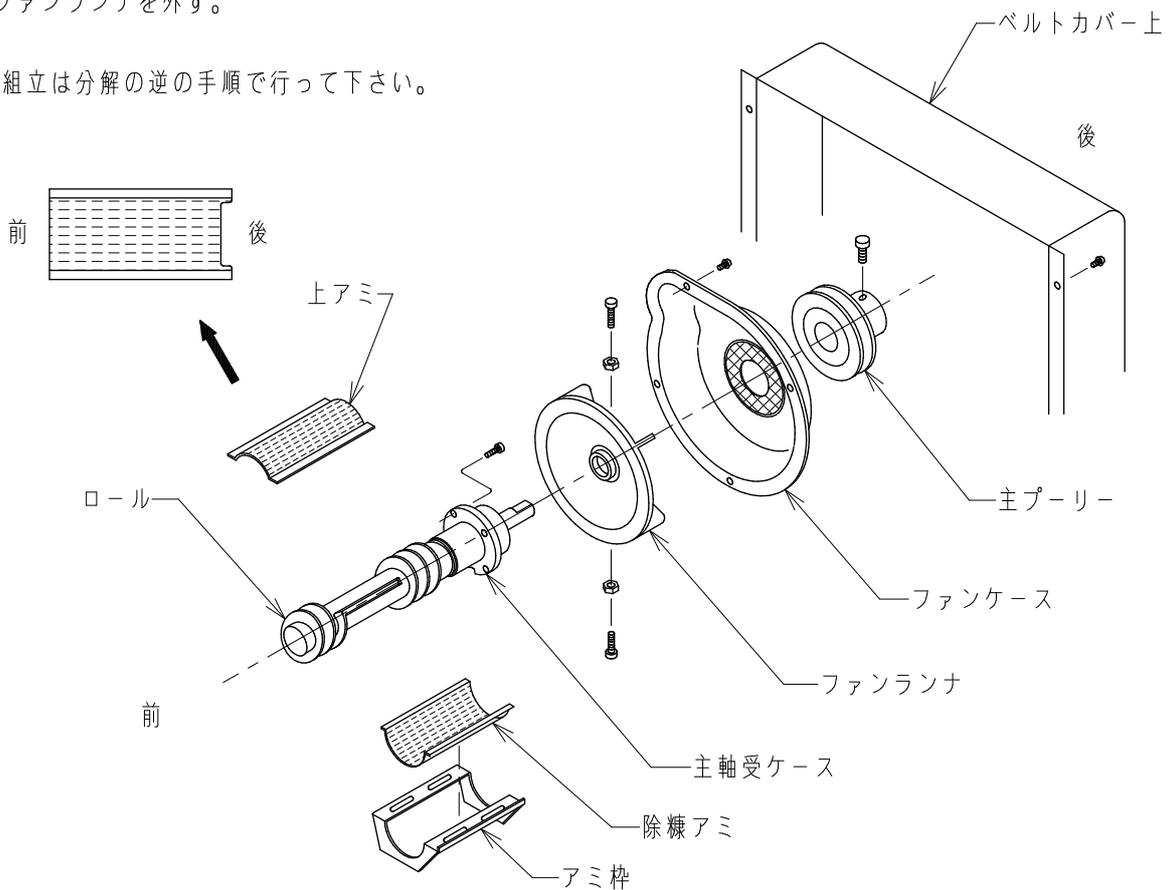


警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

## 2 上アミの取り外し方----- (分解の順序)

- 1) ベルトカバー上を外す。
- 2) 主プーリーを外す。
- 3) ファンケースを外す。
- 4) ファンランナを外す。
- 5) 主軸受ケースを外す。(ロール, ベアリング付)
- 6) アミ枠を外す。
- 7) 上アミを外す。

◎組立は分解の逆の手順で行って下さい。



・上図はマスペット22FA型です。

・マスペット2KA型は、上アミ, ファンランナ, ファンケースは付属していません。

## 5. 不調な時の原因と対策

### 5-1, 不調な時の原因と対策

※



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

状 態	原 因	対 策
・金網に糠が固着する。	・玄米の水分が適正でない。	・水分が高い場合少し乾燥を行い低い場合は水を少し加える。
	・抵抗とハンドル（供給口）の位置が不適正	・ハンドルを精米の位置か又は更に少し締める。抵抗を十分に強く加える。
	・糠箱に糠が満タンになっている。	・満タンの糠を排出する。
・精米機が作動しない。	・電源が入っていない。	・電源及び配線を確認して下さい。
	・電源のサーマルが作動している。	・原因を取り除きサーマルをリセットして下さい。
・精米時間が長くなる。	・抵抗が弱い。	・ハンドルを精米の位置か更に少し締める。抵抗を0.5～1目盛強くする。
・むらづき、片流れが生じる。	・張込み量が多い。	・玄米は適正量30Kg（2斗）を入れる。（タンク内矢印線まで）
	・機体が傾いている。	・機体を水平に据え付ける。
	・タンク内面に油等が付着している。	・タンク内面を布切れできれいにふく。糠などでこする。
	・タンク内に抵抗となるキスがある。	・タンクの交換を要する。
・フレイカーが作動する。	・抵抗が強い。	・抵抗を0.5～1目盛弱くする。
	・他の単相モーター付の機械や電熱器が働いている。	・消費電力の大きい電気製品との同時使用を避ける。
	・配線が不適当	・適正配線されたコンセントへ直接プラグを接続する。
・碎米が多く出る。	・抵抗が強すぎる。	・抵抗を0.5～1目盛弱くする。
	・玄米に碎米や胴割れ米がまじっている。	・抵抗を少し弱めて、碎米の増加を防止する